

テーマ：虫

品川区立源氏前保育園 対象年齢：5歳児

設定の理由

都会で育ち自然とのかかわりが少ない傾向にある中、園庭で植物や野菜を育てたり、虫が好む植物を植えたりするなどして、環境を作っている。そこに来た虫を観察し、飼育することを通して、ワクワクする気持ちや探求する楽しさを味わってきた。5歳児クラスになり、春の虫との出会いをきっかけに虫への興味関心が高まっているため、テーマとして設定した。

活動内容①

虫に触れてみよう

活動のねらい

実際に虫に触れることを通して、虫の生態に興味をもつ

用意した環境

蚊帳、タイ、プランター、プロジェクター、スクリーン等



活動内容

虫に触れることを通して、虫の生態を知ったり、虫の動きを見たり感じたりする

子どもたちの様子

虫への興味関心が高く、虫探しや虫作り、近隣公園で出会う虫の地図作りやカブトムシの飼育等を楽しみ、探求心を高めていた。20種以上の虫に実際に触れる経験をし、「きれい」「ふさふさしてるね」等、目で見て、肌で感じ、嬉しそうにしていた

保育者の振り返りと気づき

虫の感触や体の動かし方、力強さや、か弱さ、虫の出す音や振動など、実際に見て、触れて、感じ取れる貴重な機会となった。虫の小さな命の息遣いを感じ、その生態や特徴にさらに興味を高めている様子が伺えた

活動内容②

虫の劇を見てみよう

活動のねらい

虫の劇を鑑賞し、臨場感を味わい、劇の世界を楽しむ

用意した環境

ゴザ、椅子、チェキ等



活動内容

虫の劇を鑑賞し、観たり、感じたりする

子どもたちの様子

楽しい楽器の演奏や大きな虫たちの登場に声をあげて興奮した様子で鑑賞していた。目の前で繰り広げられるダイナミックな表現や音楽を体感し、笑い、驚き、劇の世界に吸い込まれていく様子があった

保育者の振り返りと気づき

虫たちの動きややりとりに楽しさを感じ、目を輝かせ、巨大なアリの登場には迫力を感じ、引き込まれていた。様々な感情を経験することで、子どもの感受性を育む機会になった。劇鑑賞をきっかけに、遊びの中で再現するなどして豊かな学びにつなげていきたい。



活動内容③

昆虫博士『牧田習さん』に学ぼう！

活動のねらい

虫の生態に興味をもち、触れたり、質問したりして探求することを楽しむ

用意した環境

巨大虫かご、標本、虫メガネ、プロジェクター、スクリーン、塗り絵、はさみ、のり、色鉛筆、クレヨン、チェキ、机等



活動内容

- ・昆虫博士『牧田習さん』の話を聞いたり、質問したりすることを通して探求心を広げる
- ・生きた昆虫や標本を見たり触れたりして、命の尊さを感じる

子どもたちの様子

事前に牧田習さんの著書を見ていたこともあり、会えることをとても楽しみにしていた。昆虫は“足が6本ある”という特徴を教えてもらい、クイズに挑戦すると意欲的に参加していた。また生きた昆虫に触れ、「どうなっているのかな」「もっと知りたい」と探求心を深めたり、標本を見て「どこの世界の昆虫？」「どうやって作ったの？」と、尋ねたりしてしていた。

保育者の振り返りと気づき

世界中の昆虫を採取してきた昆虫博士の方の話を聞き、生きた昆虫に触れたり標本を見たりしながら、気になったことを質問できたことで、探求心を育む機会となった。また、昆虫が死んでしまった後にも、標本としてたくさんの方の目に触れていくことができることを知り、命の大切さを感じているようだった

活動内容④

きりん組の昆虫展

活動のねらい

- ・製作を通して、自分なりに表現する楽しさを味わう
- ・共同で作り上げる楽しさや喜び、達成感を感じる

用意した環境

画用紙、カラーポリ袋、絵具、のり、ボンド、すずらんテープ、空き箱、段ボール、蛍光絵具、新聞紙など



活動内容

- ・共同で作り上げる楽しさや喜びを感じる
- ・自分のイメージを様々な表現方法で形にしていく楽しさを味わう



子どもたちの様子

一年を通して虫に関わる経験をしてきた子どもたちは、「昆虫館のカマキリはこうやって枝に捕まった。あの大きい目の中に小さい点があるんだよね。」「劇のアリはこうやって動いてたよ。」等、様々な気づきや発見、教えてもらったことを思い出しながら作品作りを楽しんでいた。製作過程で難しいことがあっても、保育者や友達と粘り強く取り組んでいた。数日開催していた作品展を保護者と一緒に連日見学し、自分の作品を紹介して喜んでいた。

保育者の振り返りと気づき

1年間、大好きな虫との様々な出会いを体験してきた。集大成となった作品展は、子どもたちの発見や探求心の詰まった素晴らしい空間となった。虫との触れ合いを五感で感じ、心を動かしてきた経験は何物にも代えがたく、それぞれの子どもたちの中にそれぞれの形で息づいていることを感じた。